

楽しかった夏まつり

～みんなで楽しむ夏の思い出～



8月8日(土)、恒例の「えーまち夏祭り」を開催しました。今年も多くの皆さんに参加いただき、夏の夜のひとときを楽しんでいただきました。

今年の目玉は何といっても“大抽選会”と“花火の打ち上げ”でした。大抽選会には300名を超える応募があり、特賞の飛騨牛をはじめとする60名の皆さんが見事当選されました。賞品を提供くださいました企業・事業主の皆さん、ご協力ありがとうございました。間近で見る打ち上げ花火には、迫力ある音と鮮やかな光に圧倒され、会場のあちこちから拍手が湧き上がりました。

予期せぬ悪天候のため、会場は体育館へ変更となりましたが、ステージやフロアでの発表や盆踊りを楽しんで頂くことができました。

「やんさクラブ」の子ども達の元気な歌声と「坪内流」の皆さんによる演奏で「ひだやんさ」が披露され、フロアでは、大きな輪になって盆踊りを楽しむことができました。踊りに参加された皆さんには、市民謡連合会の『らぶやんさ』シールが配付され(貼られ)ました。「よさこいソーラン教室」の皆さんの切れのある“よさこいソーラン”や、速い曲に合わせて楽しく踊って下さった「ヒップホップダンス教室」の皆さん、中田真理さん他有志の皆さんによる“ダンシングヒーロー”も、会場を大いに盛りあげてくださいました。

がんちゃん(谷口静夫さん)による楽しい“バルーンアート”や、中学生ボランティアが運営してくれた“射的”も大盛況でした。キッチンカーも大盛況で補助券も大いに利用されていました。

小中学生ボランティアの皆さんは、司会進行やブースの担当、ゴミ分別回収の呼びかけに大活躍し、頼もしい姿を見せてくれました。

協賛いただいた企業・事業主の皆さま

(株) アイデアサポート／(有) あいだ造園／(株) アクアテック／(有) 大霜商事／桂川果樹園
(有) 小林農園／山都タクシー(株)／(株) シモダ道路／(有) 白啓酒店／(有) 大六印刷／(有) 丸勇建設
デیلیヤマザキ高山江名子店／東海近畿クボタ高山営業所／(株) なべしま／(株) 林工務店
(株) 斐太プランニング／ファミリーマート高山江名子店／飛騨信用組合／ひだホテルプラザ
～ご協力ありがとうございました～

えーまち 夏祭り



夏休みカレーの日

恒例の「夏休みカレーの日」、
今年は、7月29日・8月19日の2
日間開催しました。のべ239名
の親子が参加してくれました。

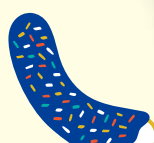
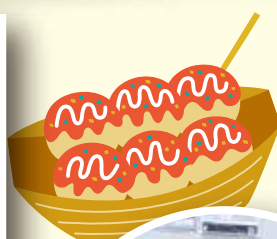


夏のたからチャレンジ展

「夏のたからチャレンジ展」が開催されました。江名
子小学校の児童の皆さんが、夏休みにチャレンジした
宝物の展示会が、8月25～27日開催されました。



熊本地震災害義援金をお届けしました



軽スポーツ教室



本年度は、江名子出身のパーソナルトレーナー桂川晃尚さんの指導により実施しています。

10月以降も「親子で取り組む運動」

「走り強化する運動」「投げるを強化する運動」の3つのテーマに取り組めます。まだ若干余裕がありますので、ご参加ください。



AED講習会

7月14日、AED講習会を開催し、町内役員さんはじめ13名の方が参加して下さいました。いざという時に備え、目の前で人が倒れた際にも役立つAEDの使用について、実践的な研修をしました。



町内会・まち協及び夏祭り義援金箱にお寄せいただいた
義援金 321,271円をお届けしました。

安否確認訓練・避難所開設訓練・防災講演会

9月6日(日)、「高山地域で大地震が発生」を想定し、「安否確認訓練」「一時避難所等の発電機の作動及び備品等の確認」「防災講演会」を実施しました。

荏名団地町では、各班長が名簿や地図を手に各戸を巡回し安否確認訓練を実施されました。また、公民館では町内役員や避難された方とともに、発電機の作動訓練をされました。指定避難所となる江名子小学校でも、発電機の作動確認や市・まち協の防災倉庫他の備蓄品の点検を行いました。

防災講演会では、防災士の岩井慶次さんによる講演が行われました。「災害状況をイメージすることの大切さ」や「住宅の耐震化への様々な取り組み」等について具体的なお話を聞くことができました。



今後の事業案内

ウォークラリー ～田中大秀を訪ねる～

今年のウォークラリーは、「田中大秀を訪ねる」をテーマに、荏名文庫土蔵の宝物の特別展示を見学し、大秀が生前に墓所と定め名づけた「松室岡」を訪ね、短歌に触れてみます。

●日時 10月25日(日) 8:30～11:30

●会場 荏名神社・松室岡

作品募集 ～まち協作品展～

江名子校区の皆さんが、趣味や生涯学習の一環として日頃取り組んでおられる創作活動の発表の場として、今年も作品展を開催します。多くの皆さんの出品をお待ちしています。出品については、まち協事務局までお問い合わせください。

●日時 10月25日(日) 9:00～13:30

「ウォークラリー」開催日

●会場 江名子小学校体育館

防災コーナー

～今すぐできる7つの備え～

参考：内閣府「減災のてびき」

その③ 災害の怖さを知ろう（地震・室内編）

●大地震では、テレビが飛び、タンスがあなたの上に倒れかかってきます

阪神・淡路大震災でも、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって、尊い命を失ったり、大ケガをしたりしました。また、テレビや家具が散乱し、逃げ遅れた人たちもいます。

●窓ガラスや食器は、鋭い破片を床一面に広げ、あなたの行く手をはばみます

素足で歩ける状態ではありません。スリッパやズック靴などをいつでも使えるように置いておきましょう。

●「生き残ってから」のことよりも、「生き残るため／死なないための努力」を先に行いましょう

『緊急地震速報』を見聞きしても、家の中に安全な場所がなければどうしようもありません。まずは、身近な空間の安全点検と必要な対策が最優先です。

自分や家族の安全を守るために

●転倒防止金具などで固定し、倒れにくしておく。万が一倒れてきても、安全のように、家具の向きを変更しましょう。

●二段重ねの家具類は、上下を平型金具などで固定し、棚やタンスなどの高いところに危険な物を載せて置かないようにしましょう。

●吊り戸棚などの開き扉は、掛金などにより扉が開かないようにしたり、サイドボード、食器戸棚、窓などのガラスには、ガラス飛散防止フィルムを張ったりしましょう。

●出口は複数確保して、地震で建物が歪んでも外に出られるようにしておきましょう。

●本棚や茶ダンスなどは、重い物を下の方に収納し、重心を低くする。

